

川崎市産学共同研究開発プロジェクト補助金交付申請書

令和〇〇年〇〇月〇〇日

（宛先）川 崎 市 長

本店所在地 川崎市〇〇区〇〇町〇〇番地

商号又は名称 〇〇〇株式会社

川崎市内の
事業実施場所を記入

代表者職・氏名 代表取締役 〇〇 〇〇

事業実施場所 本店所在地と同じ

〔連絡担当者〕

氏 名 〇〇 〇〇

所 属 ・ 職 名 開発部 部長

電 話 番 号 044-〇〇〇-〇〇〇〇

メールアドレス 〇〇〇@〇〇〇〇

川崎市産学共同研究開発プロジェクト補助金交付要綱第8条の規定により、次のとおり申請します。

事業名	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の名称を記入（例：〇〇の開発） ・公表されても問題ない名称にすること
事業分野	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;"><input type="checkbox"/> 新製造技術関連分野</div> <div style="width: 50%;"><input type="checkbox"/> 情報通信関連分野</div> <div style="width: 50%;"><input type="checkbox"/> 環境関連分野</div> <div style="width: 50%;"><input type="checkbox"/> 新エネ・省エネ関連分野</div> <div style="width: 50%;"><input type="checkbox"/> ナノテク・材料分野</div> <div style="width: 50%;"><input type="checkbox"/> 医療・福祉関連分野</div> <div style="width: 50%;"><input type="checkbox"/> 生活文化関連分野</div> </div>
総事業費	〇〇〇千円
補助対象額	<ul style="list-style-type: none"> ・補助対象経費の3分の2以内の金額 ・千円以下切り捨て
補助申請額	<ul style="list-style-type: none"> ・上限500万円（5,000千円）
企業概要	別紙1
事業計画	別紙2
経費内訳	別紙3

主な分野を一つ選択

〇〇〇千円

〇〇〇千円

別紙1 企業概要

◆概要

商号	〇〇〇株式会社	代表者 職・氏名	代表取締役 〇〇 〇〇
本店所在地	川崎市〇〇区〇〇町〇〇番地	日本標準産業分類の中分類で 該当するものを記入してください	
事業 実施場所	本店所在地と同じ		
電話番号	044-〇〇〇-〇〇〇〇	メールアドレス	〇〇〇@〇〇〇〇
業種		従業員数	〇〇人
資本金	〇〇〇千円 (大企業の出資割合 〇〇%)	創業年月	〇〇年 〇〇月
主要製品	〇〇装置 50%	主要取引先	株式会社〇〇 30%
	〇〇機械 30%		〇〇株式会社 10%
	〇〇機械 20%		有限会社〇〇 10%

◆事業実績 (※直近2期分)

決算期	〇年/〇月期	〇年/〇月期
売上高	〇〇〇千円	〇〇〇千円
営業利益	〇〇〇千円	〇〇〇千円
経常利益	〇〇〇千円	〇〇〇千円

◆自社PR等 (※得意技術や独自技術、過去に実施した研究開発、特許取得の実績など)

- ・御社のPR事項を記入してください。
- ・1ページに収まらない場合には、次ページに続けてもかまいません。
- ・申請事業とは直接関係のない事項を記入してもかまいません。

※書ききれない場合には、次頁へ記入してください。

別紙2 事業計画

- ・別紙2で5ページ程度を目安として作成してください。
- ・専門用語を避け、なるべくわかりやすい記述としてください。
- ・写真や図を使用してもかまいません。

◆ 事業の概要

*** 開発概要** (※研究開発を行う背景や課題、目的(最終目標)等について、300文字程度で具体的に記載すること)

*** 開発内容** (※今年度の研究開発の目標、内容等を記載すること。また、開発項目ごとに目標、解決手段、実施内容を具体的に記載すること)

*** 新規性・独自性** (※従来の製品等にはない優れた点、模倣されにくい点、知的財産の取得可能性について記載すること)

必要に応じて従来品との比較(違い)を記入してください。

*** 市場性** (※開発された製品等の市場ニーズ、市場規模、市場でのシェア獲得の見込み等について記載すること)

*** 事業化・製品化の見込み** (※事業化に向けて、今年度の研究開発以外に必要な事項(追加開発、生産・販路開拓の体制整備等)について記載すること)

*** 環境性・社会性** (※研究開発の成果について、脱炭素をはじめとする環境への貢献、社会や産業界に与える影響を記載すること)

*** 産学連携性** (※申請者と大学等との役割分担や共同研究開発の意義を記載すること)

※以下の加点項目及び備考欄への記載は必須ではありません。

該当する場合のみ記載してください。

また、加点項目1-1と1-2については、両方に記載してもかまいませんが、加点対象はどちらか1項目となります。

いずれの加点項目についても、審査会にて加点の妥当性が認められた場合のみ、加点対象となります。

<p>* 加点項目 1-1 【デジタル化】 (※本事業がデジタル化に資する場合、その理由と効果を記載すること)</p>
<p>* 加点項目 1-2 【SDGs】 (※本事業が、気候変動への影響軽減等、SDGsの達成に資する場合、その理由と効果を記載すること)</p>
<p>* 加点項目 2 【事業継続計画 (BCP)】</p> <p>提出書類 ()</p>
<p>【備考】 (※他の助成制度 (補助金等) の活用状況 (見込み含む)、産業財産権の出願、研究論文や学会発表したものがあれば記載すること)</p>

※書ききれない場合には、次頁へ記入してください。

※説明に資料が必要な場合には、別添として添付してください。

◆開発体制（※書ききれない場合は別紙に記入すること。）

* 研究開発プロジェクトに参加する大学、企業、専門家等について

研究代表者名：○○ ○○ （所属）技術部 部長

※原則として申請者に属する者

大学及び研究者名	○○大学 ○○学部 ○○科 教授 ○○ ○○
研究内容	<p>(※大学等との共同研究契約を締結していただきます。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川崎市外の大学でもかまいません。 ・研究内容は具体的に記入してください。
参加者氏名	(所属)
開発役割等	<ul style="list-style-type: none"> ・共同研究を行う大学等以外に、連携して研究開発を行う方がいる場合は記入してください。 ・学術機関、研究機関、企業等の種別は問いません。
参加者氏名	(所属)
開発役割等	
参加者氏名	(所属)
開発役割等	

別紙3 補助対象経費内訳

(単位：円)

費目	内訳	金額 (税抜)
(1) 原材料・ 消耗品費 及び資料購入費	基盤部品	200,000
	試験用試薬	300,000
	筐体部品	500,000
小計		1,000,000
(2) 機械装置・ 工具費	〇〇加工機	1,000,000
	小計	
(3) 外注加工費 及び 調査分析費	〇〇製作	500,000
	小計	
(4) 産業財産権 導入費	弁理士費用	500,000
	小計	
(5) 技術指導費	〇〇大学共同研究費	1,500,000
	小計	
補助対象経費の合計		4,500,000
補助対象外経費	社内人件費	1,500,000
	旅費	100,000
	特許印紙代	30,000
小計		1,600,000
総事業費		6,100,000